

# 地球温暖化、京都議定書、私たちにできること

グリーン・フォワード 船津寛和

テーマに沿って3回に渡り連載していきます。さて第1回目は地球温暖化について。なお、同様のテーマで6/5(日)13:30から練馬区環境月間行事でセミナーを開催致しますので、こちらにもぜひお越しください。

## 温暖化って何が問題なの？

日本では温暖化という言葉を使いますが、世界では「気候変動」と呼ばれています。気候が変動することにより、生態系など自然環境に影響がおよび、それが社会に影響を与えます。もっとも大きな影響を受けるのが「いのち」であり、「経済、社会」です。

農業、食糧：干ばつや洪水の増加はもちろん、気温の上昇は農作物の収穫高に影響を与えます。

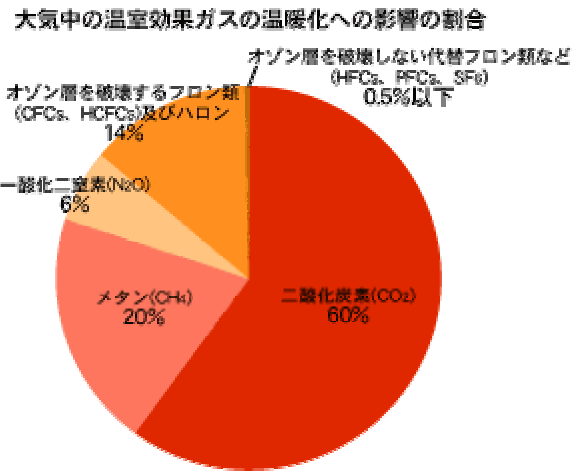
1 の上昇で収穫量は10%減少するというデータがあります。

自然災害：台風や洪水、渇水などの規模がより甚大となります。人命はもちろん、経済的な被害額は数兆円に上り、損害保険の補償額は世界的にも急増しています。

世界の食糧生産が減り、価格が上昇し、もっとも影響を受けるのが貧しい国の人々です。

海面上昇で国や住居、農地など生活基盤を失うのも貧しい人々です。

環境問題は常に、貧困など南北問題と密接に関連しています。



出所) IPCC第3次評価報告書第1作業部会資料より作成(2001)

## 温暖化ってなぜ起こるの？

大気中への温室効果ガスの排出が原因です。

二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、メタン(CH<sub>4</sub>)、一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)、フロン類(CFC、HCFC、HFC、PFC、SF<sub>6</sub>等)などが含まれます。

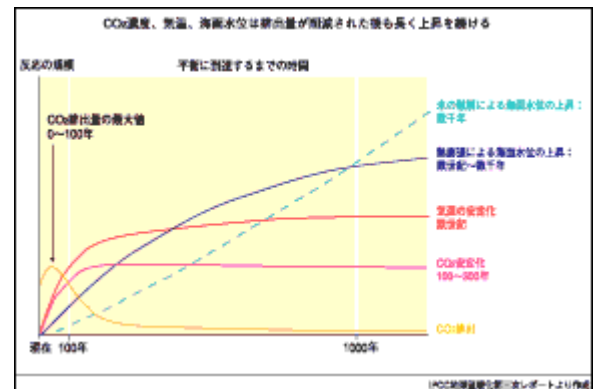
## 温暖化って本当にあるの？

国際的、科学的な共通認識として、温暖化はすでに始まっています。

過去100年で、地球の平均気温は0.6 上昇しました。

シミュレーションによれば、今後100年で平均5.8 の上昇が予想されます。

氷河期は現在より約5 低かったことを考えると、これがいかに大きな変化かが分かります。



## 私たちが目指すのは？

仮にCO<sub>2</sub>の排出を今すぐゼロにしたとしても、気温が安定化するには数百年かかり、海面上昇は数千年も続きます。

このように原因と結果の間に大きなタイムラグ(時間的ズレ)があるのが特徴です。

そこで、気候変動のリスクをなるべく小さなものにするために、

国際的NGOや各国政府で目指しているのは、気温上昇を「2 未満」に抑えることです。

そのためには、CO<sub>2</sub>の排出量を早急に80%減らす必要があると試算されています。

多くの人が想像する以上の大きな努力が必要となります。